

①手すり先行足場とは

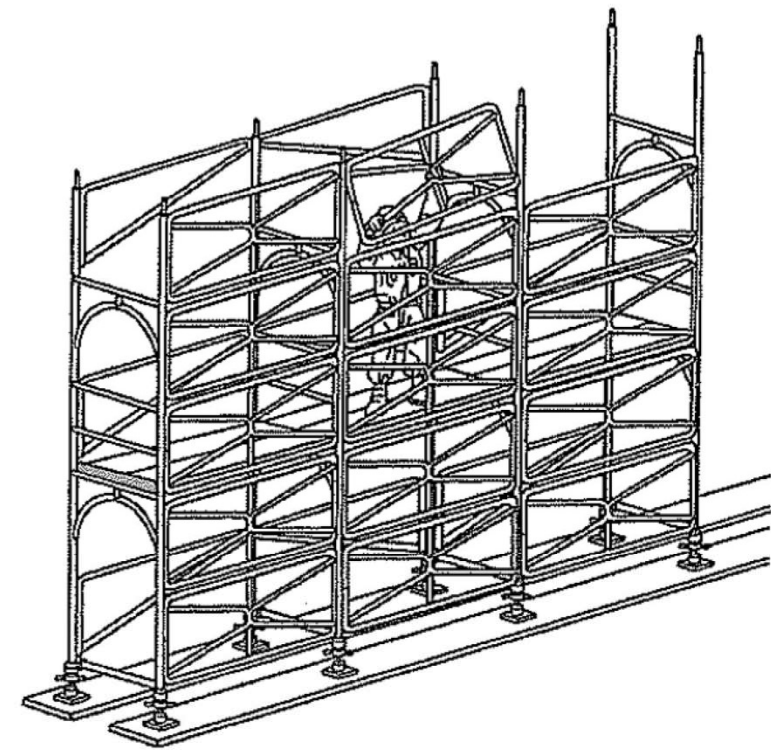
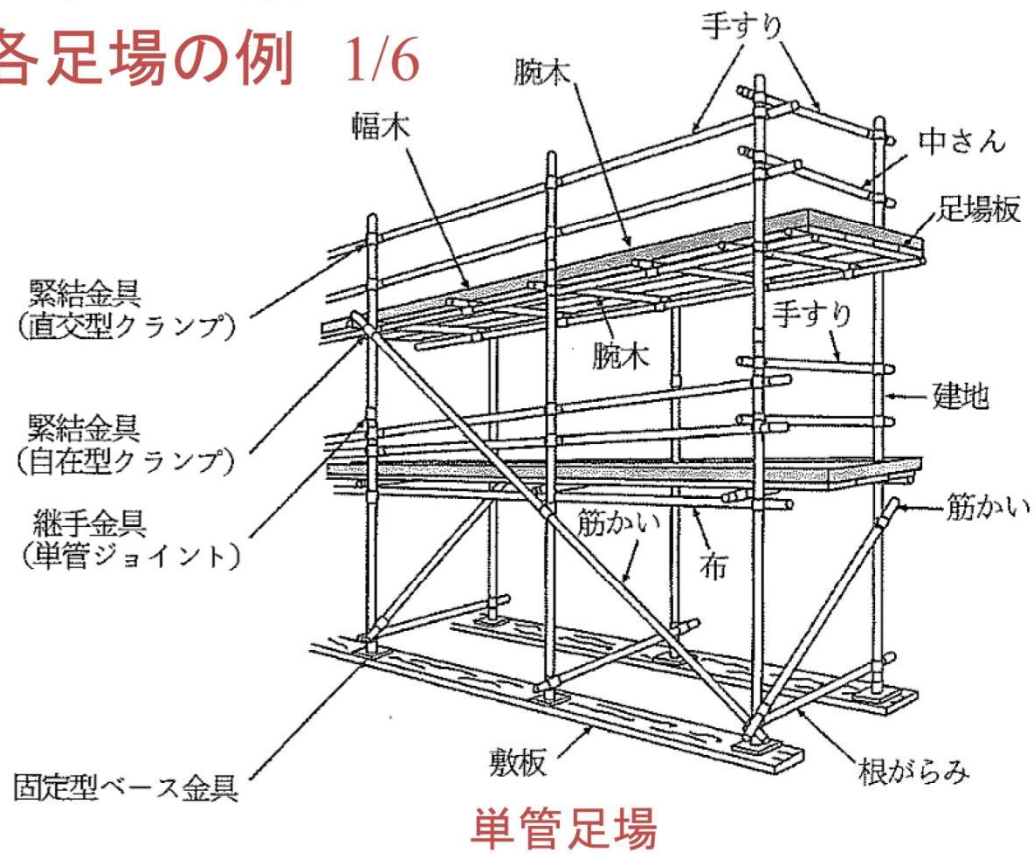
足場の分類

用途別・構造別分類

用途別 構造別	支柱足場			つり足場	機械足場	その他
	本足場	一側足場	棚足場			
外壁工事用	・ 枠組足場(ビティ) ・ くさび緊結式足場(ビケ) ・ 単管足場 ・ 手すり先行足場	・ ブラケット一側足場 ・ くさび緊結式一側足場	・ 単管足場		・ 高所作業車 ・ ゴンドラ ・ 移動式昇降足場	・ 張出し足場(張出しステージ上) ・ 移動式足場(ローリングタワー)
内装工事用			・ 枠組足場(ビティ) ・ くさび緊結式足場(ビケ) ・ 単管足場		・ 高所作業車	・ 移動式足場(ローリングタワー) ・ 移動式室内足場(可搬式・足場を含む)
躯体工事用	・ 枠組足場(ビティ) ・ くさび緊結式足場(ビケ) ・ 単管足場 ・ 手すり先行足場	・ ブラケット一側足場 ・ くさび緊結式一側足場		・ つり枠足場 ・ つり棚足場	・ 高所作業車	

足場の分類

各足場の例 1/6



手すり先行足場



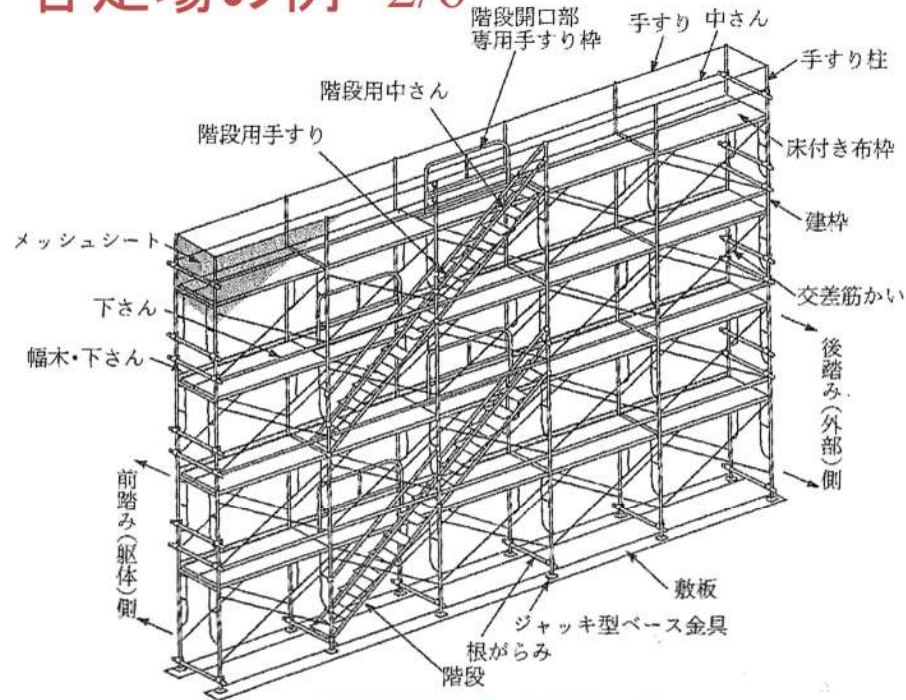
単管



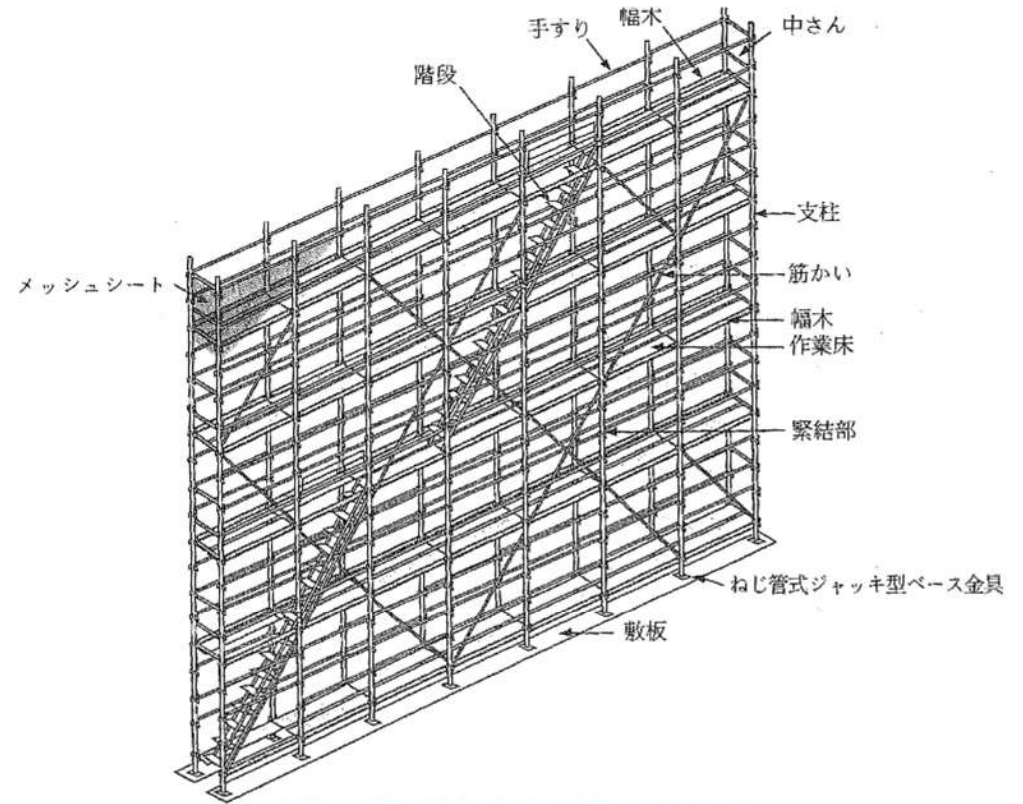
クランプ

足場の分類

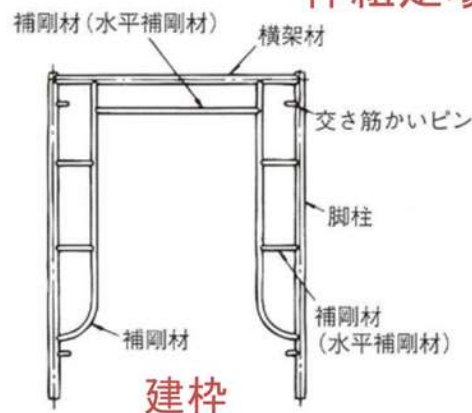
各足場の例 2/6



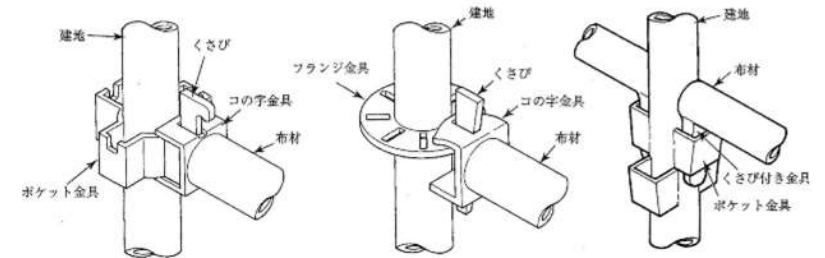
枠組足場(ビティ)



くさび緊結式足場(ビケ)



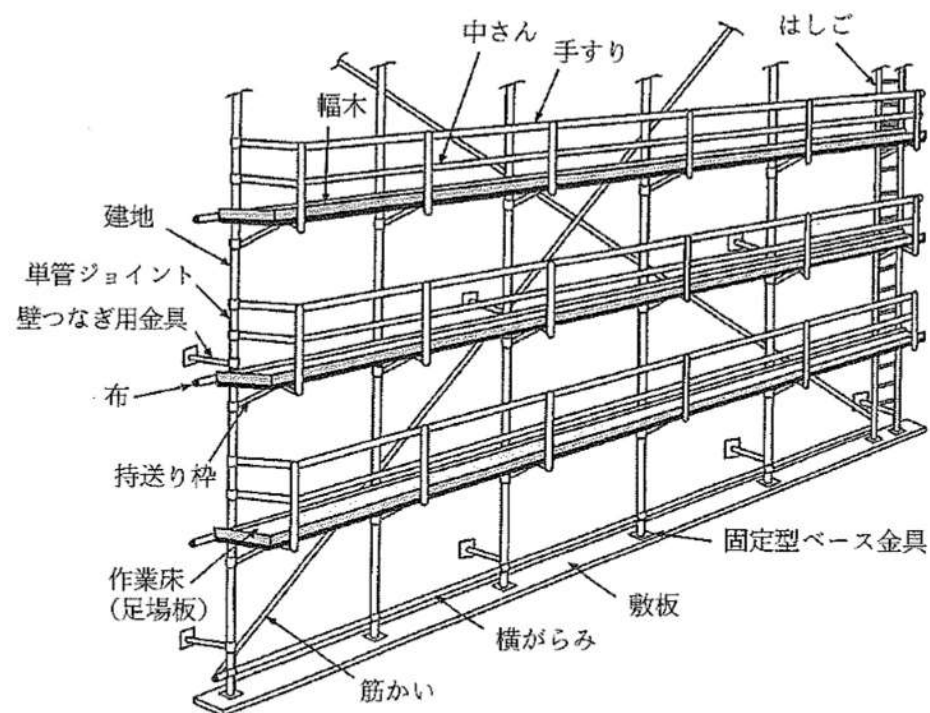
板付き布枠



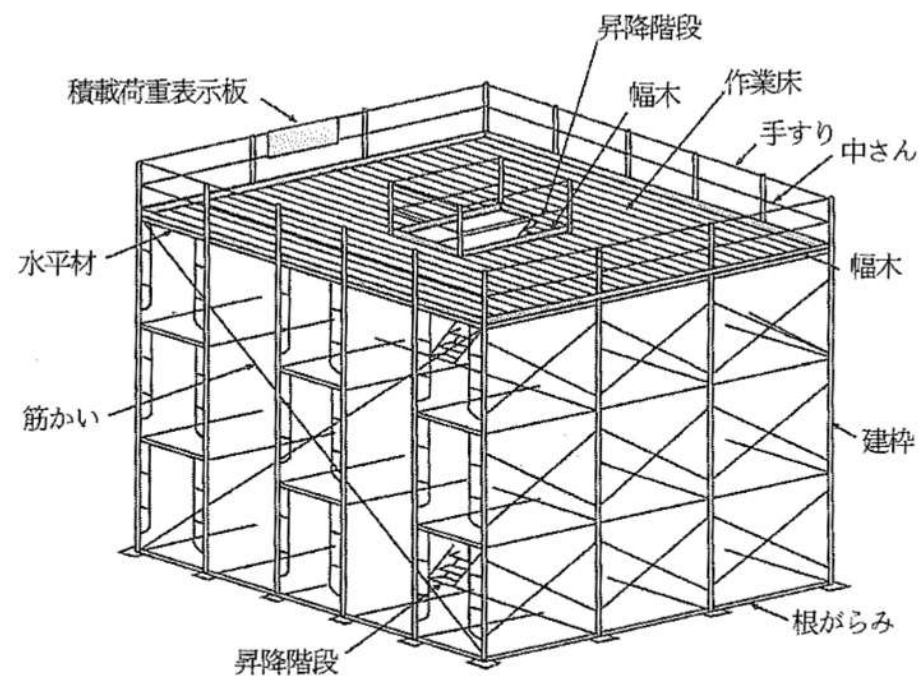
緊結方式

足場の分類

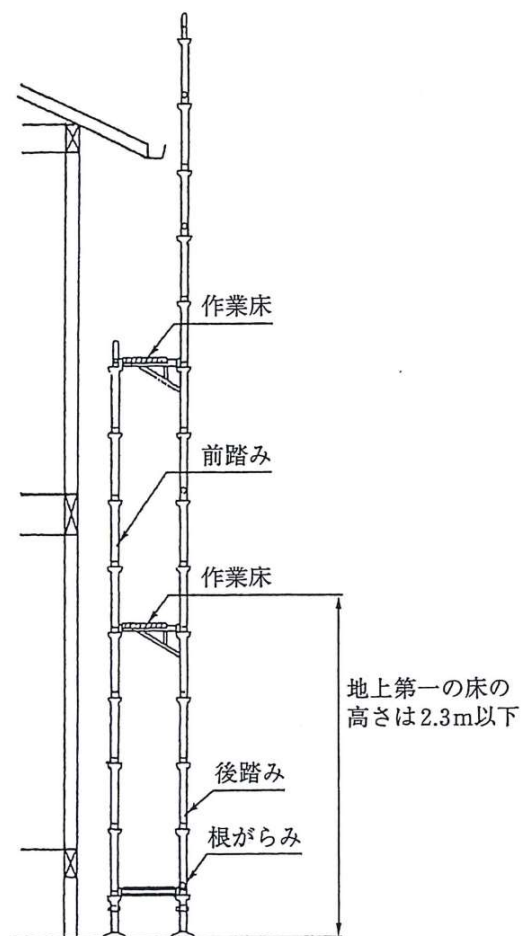
各足場の例 3/6



ブラケット一側足場

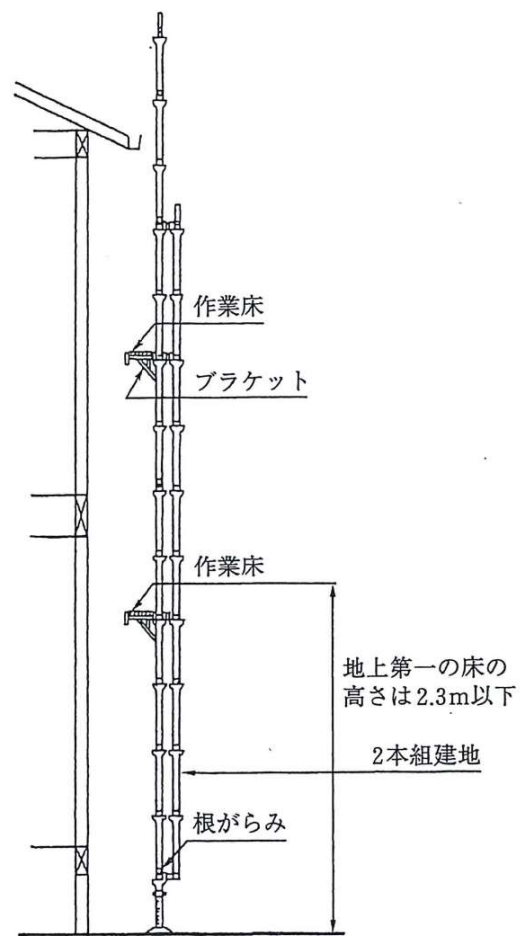


棚足場



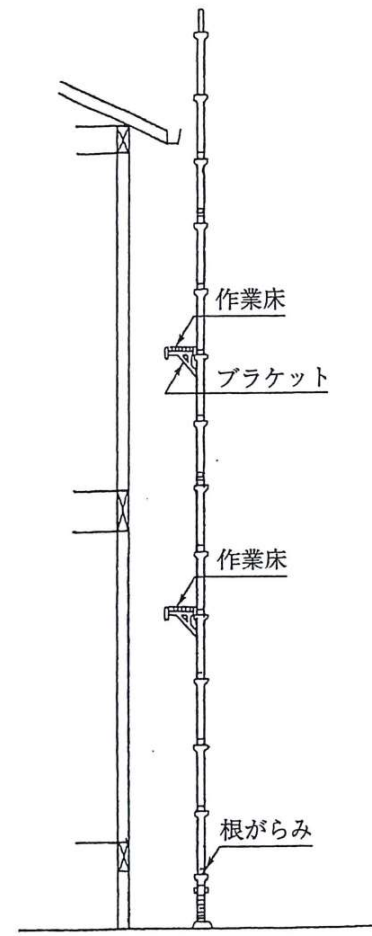
(a) 二側足場

2列の建地（支柱）の構造のため、一側足場と比較して足場の安定性が高い。屋根からの墜落防止のため、後踏み側の建地が屋根より上方に立ち上がっている。



(b) 2本組みブラケット一側足場

二側足場が設置できない狭い場所において、建地にブラケットを取り付けた1列の構造の足場で、建地を2本抱き合わせて、足場の強度を高めている。



(c) ブラケット一側足場

壁つなぎや控え又は控え支柱等を設け、建地にブラケットを取り付けた1列構造の作業床を備えた足場である。

足場の分類



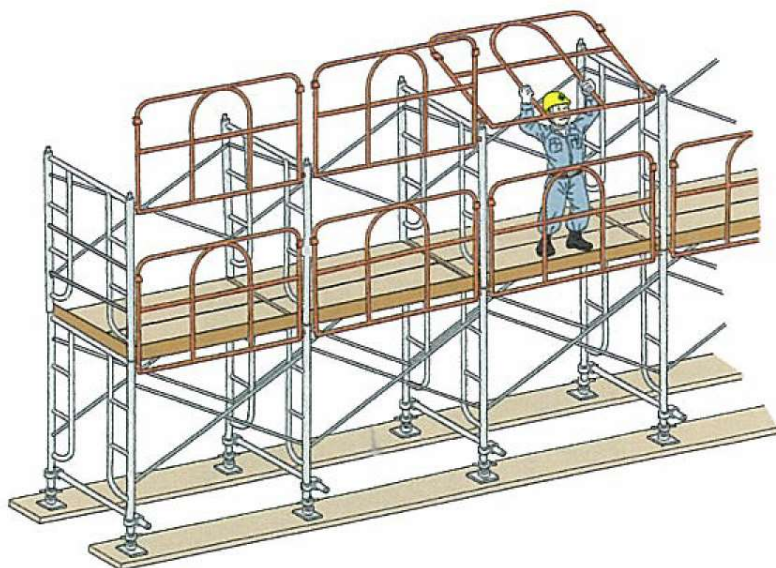
単管足場



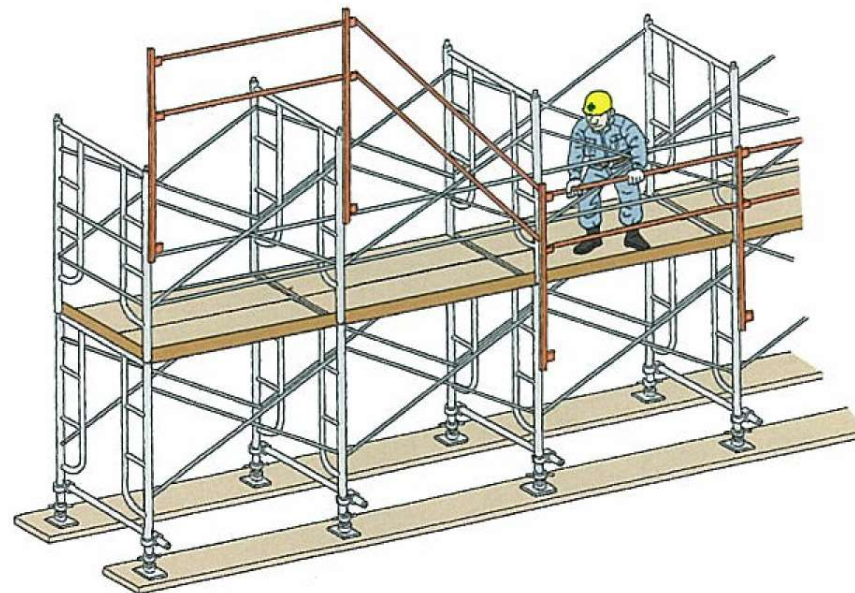
枠組足場(ビティ)



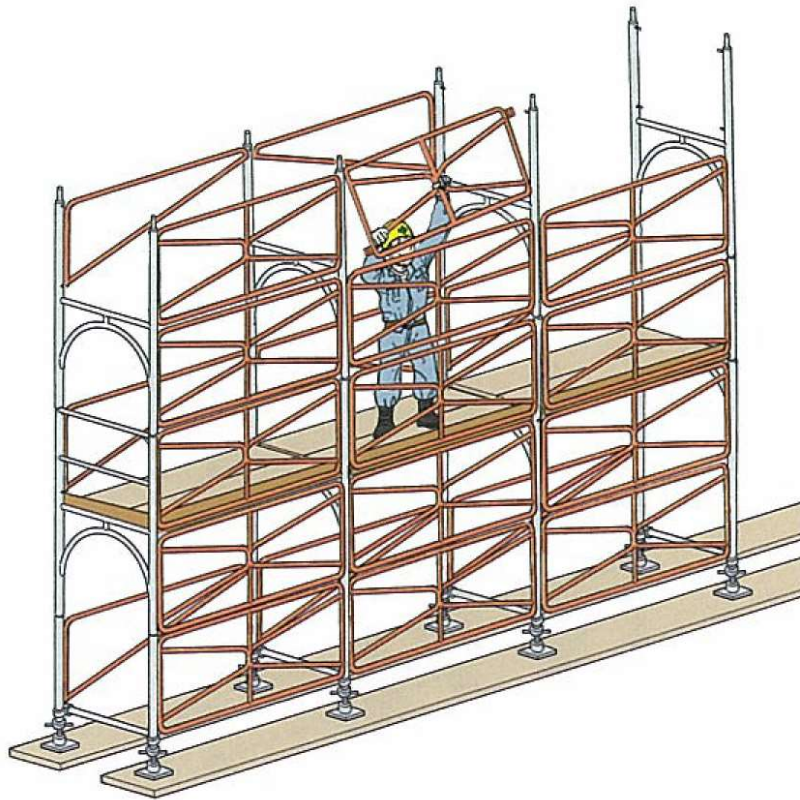
単管足場



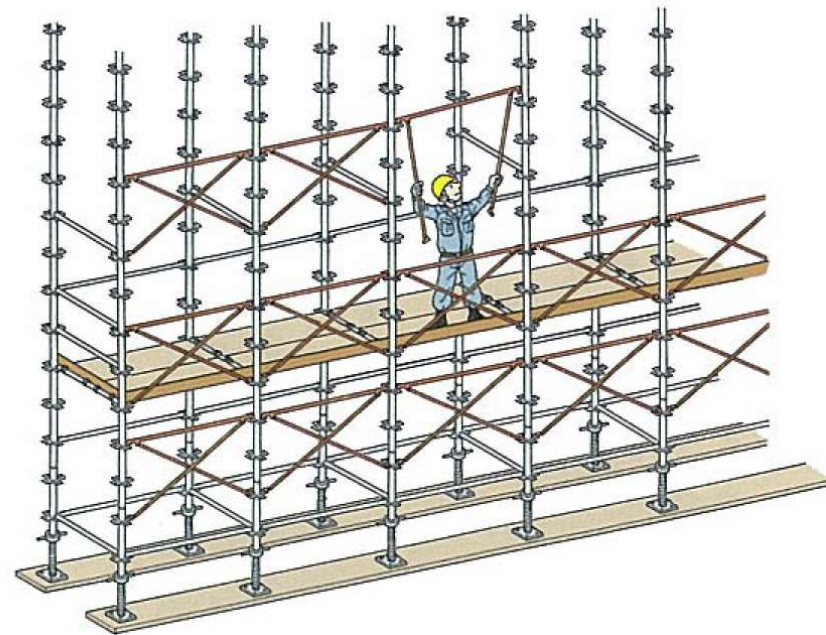
わく組足場の手すり据置き方式



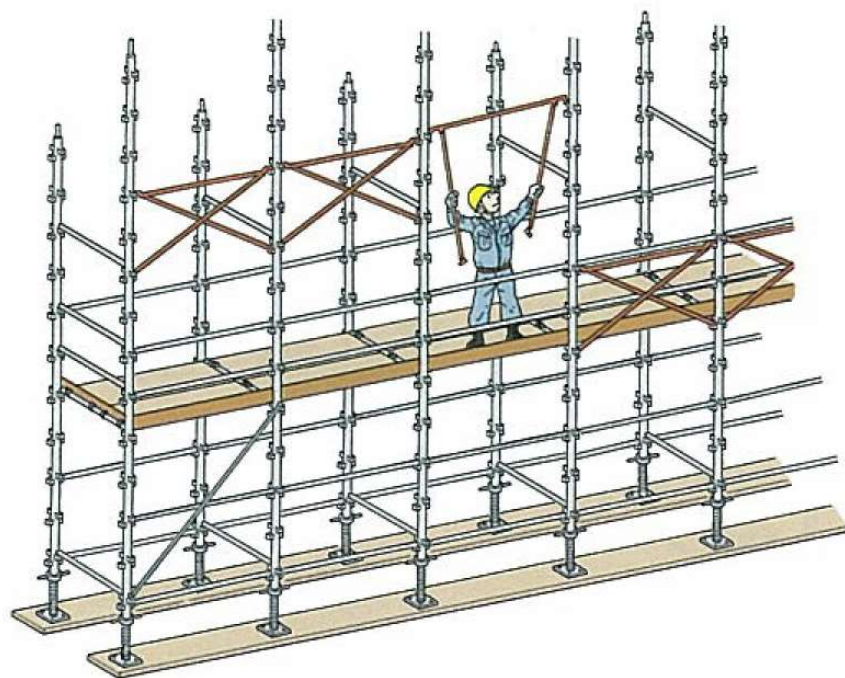
わく組足場の手すり先送り方式



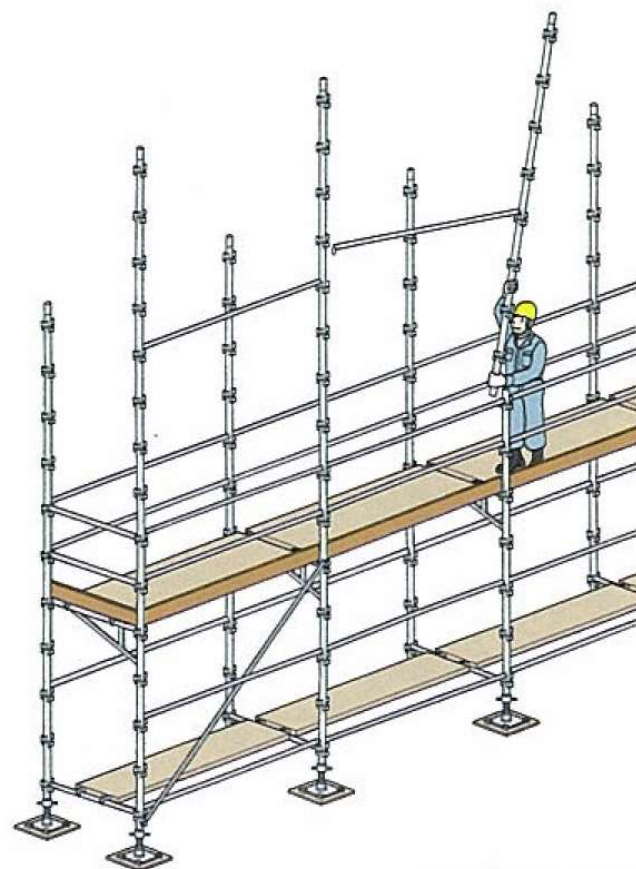
わく組足場の手すり先行専用足場方式



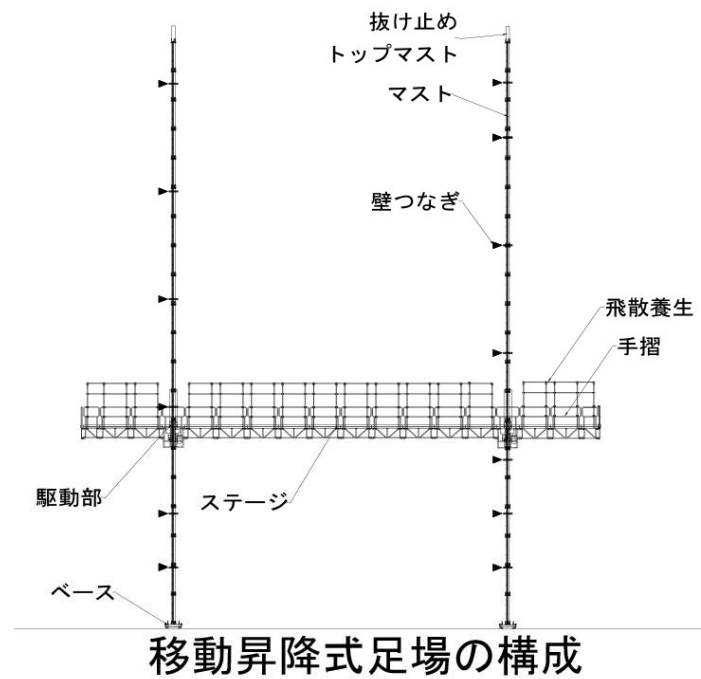
くさび緊結式足場の手すり据置き方式



くさび緊結式足場の手すり先送り方式



支柱にあらかじめ
先行手すりを取り付ける方式
(※木造家屋等低層住宅建築工事専用)



外壁改修工事での使用例



次世代足場



桝組足場



②足場からの墜落災害発生状況

「墜落災害防止対策充実強化実務者会合」とりまとめの方向性（案）

平成27年・28年に発生した建設業の墜落災害（死亡災害262件）の内訳



①屋根・屋上等の端・開口部から（87件）

課題：法令上の最低限の墜落防止措置がなされていないケースが多い

災害の特徴

- ・全件で安全帯が未使用（87件）
- ・改修工事が39件
- ・短期間で終わる工事（作業）が多い

→ 対応策

- ①法令の遵守徹底
- ②新たなマニュアルの作成・普及
- ③安全帯に関する法令改正（フルハーネス型墜落制止用器具を原則）を平成31年2月に施行（令和4年1月1日まで経過措置）。墜落制止用器具購入の際の補助金制度を実施。）

②足場での通常作業中（29件）

課題：①手すり等がない場合が多い
②一側(ひとかわ)足場は手すり等の具体的な規定がない

災害の特徴

- ・本足場・一側足場における通常作業時の墜落が19件
→このうち、手すり・中さんがないものが15件
- ・特に、一側足場における通常作業時の墜落が10件

→ 対応策

- ①足場の点検の強化（P）
（点検の必要性の周知、点検者の要件について法令で規定、記録・表示について法令・推進要綱で規定）
- ②一側足場を使用できる箇所を制限

③足場の組立・解体中（21件）

課題：法令上の最低限の墜落防止措置がなされていないケースが多い

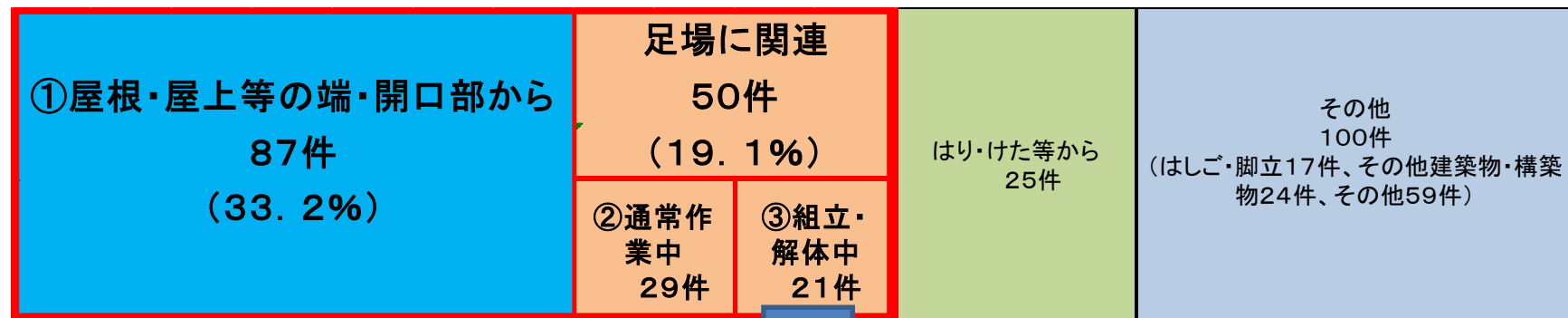
災害の特徴

- ・本足場の組立・解体中の災害が10件
→この全てで安全帯を未使用

→ 対応策

- ①法令の遵守徹底
- ②「手すり先行工法」の普及促進（P）

平成27年・28年に発生した建設業の墜落災害(死亡災害262件)の内訳



手すり先行工法であるか否かは

災害件数に関係なし

○ 本足場の組立・解体中の災害 10件(うち2件は足場の崩壊等によるもの)

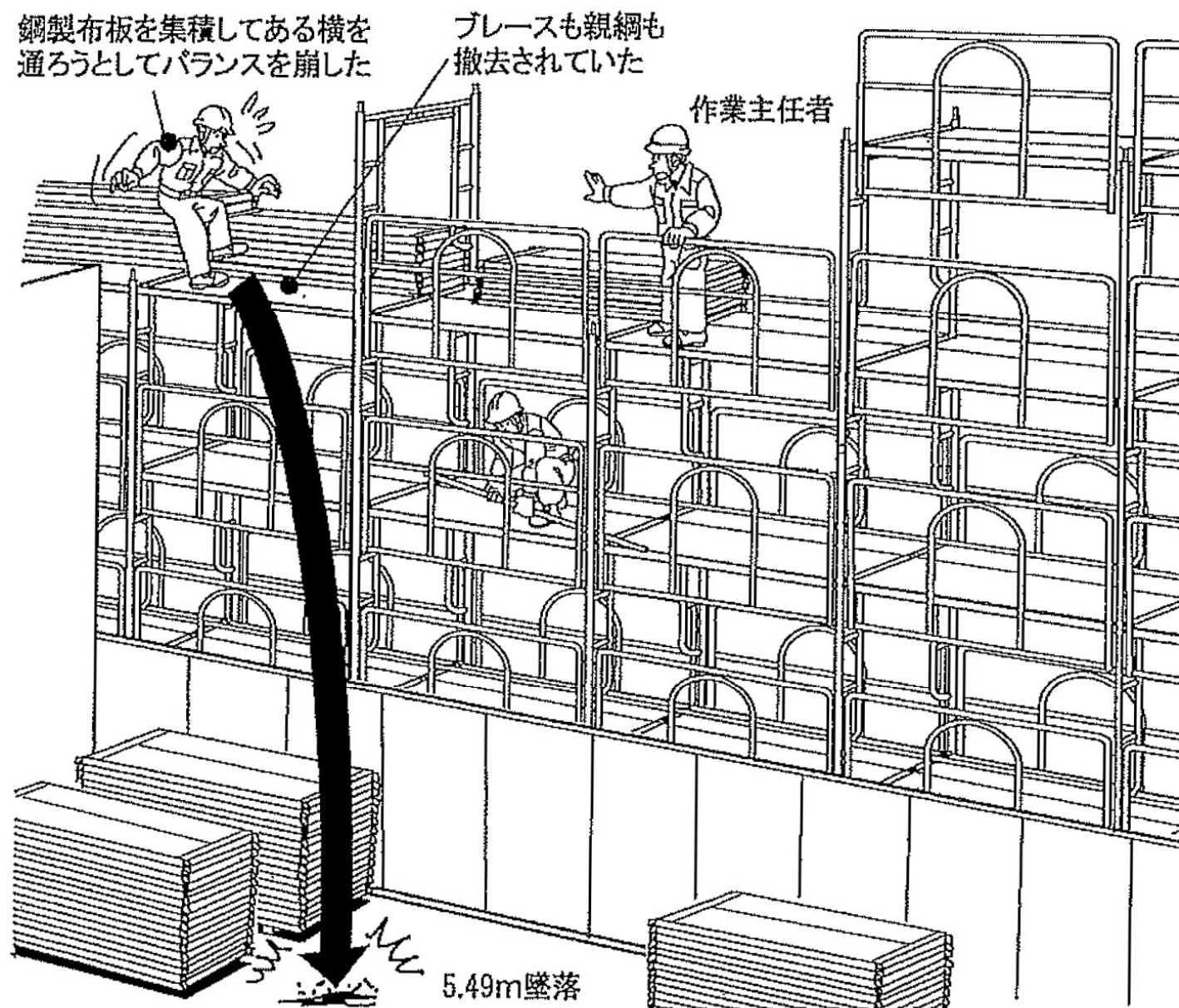
うち最上層から墜落8件

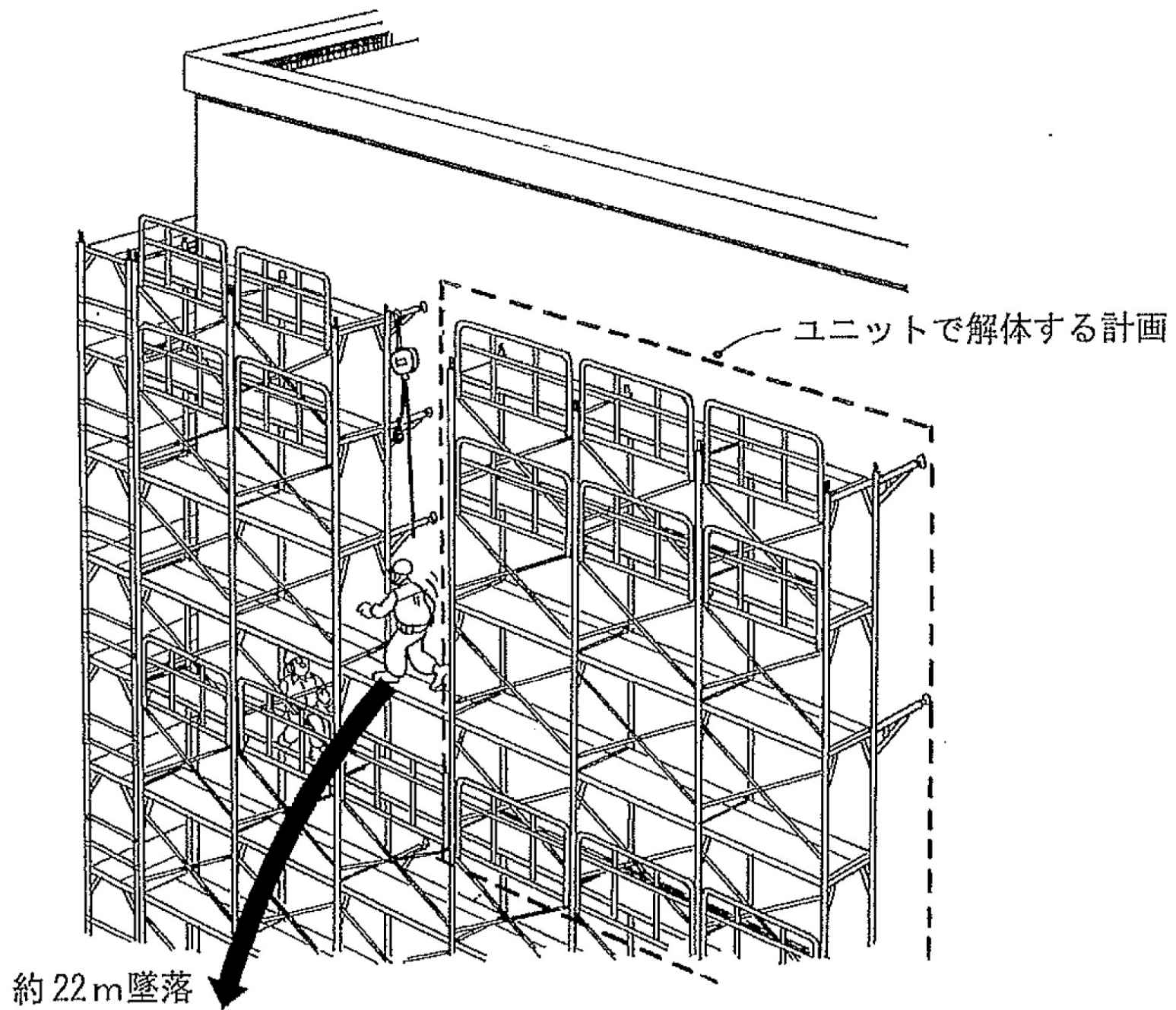
手すり先行工法 3件

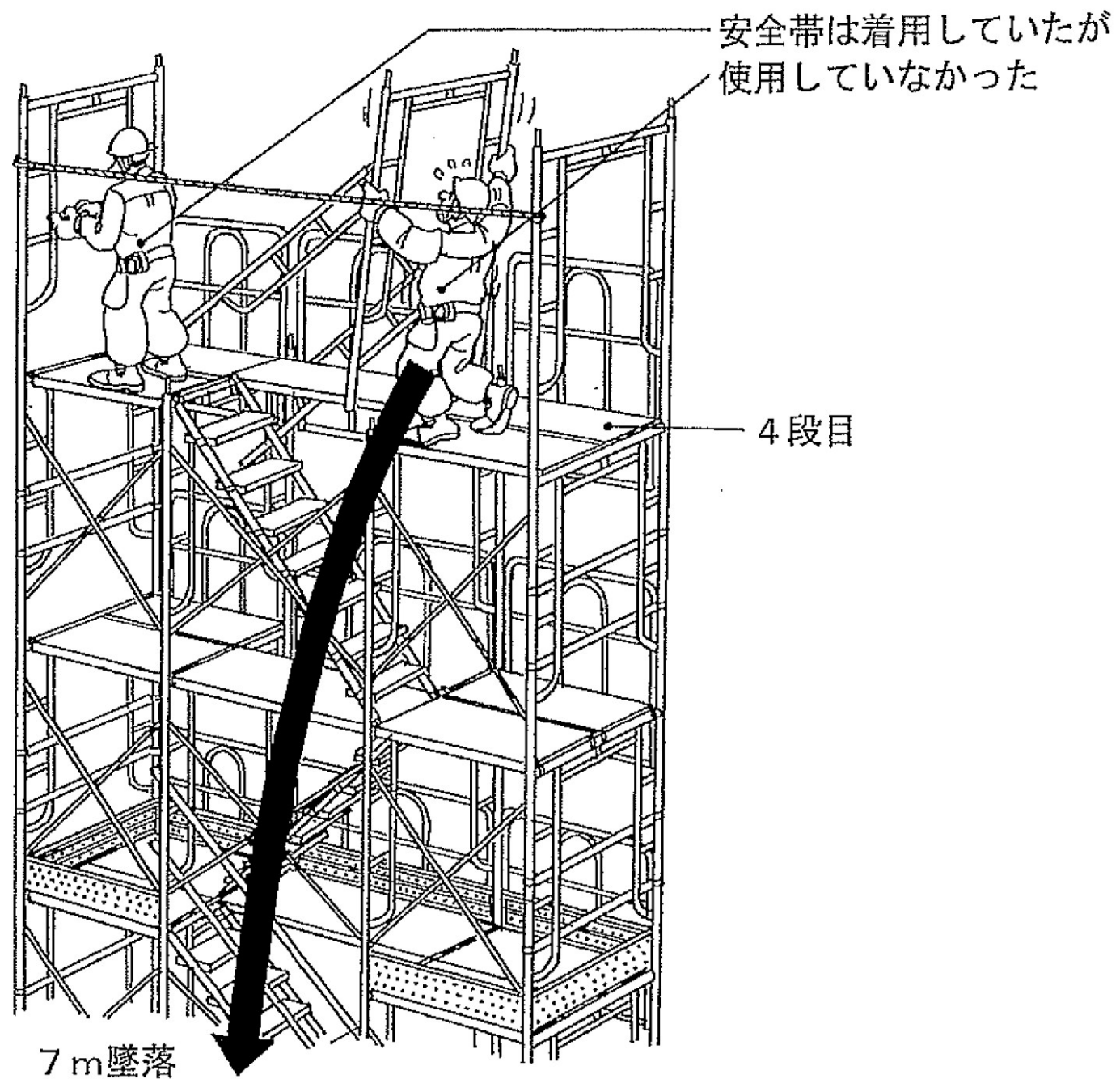
在来工法 5件

この全てで安全帯を未使用

★手すり先行工法の義務化により防げた可能性のある災害は262件中5件以下







⑤建設業団体に取り組む 死亡災害対策

**写真1-1 胴ベルト型の
墜落制止後の状態(例)**



**写真1-2 フルハーネス型の
墜落制止後の状態(例)**



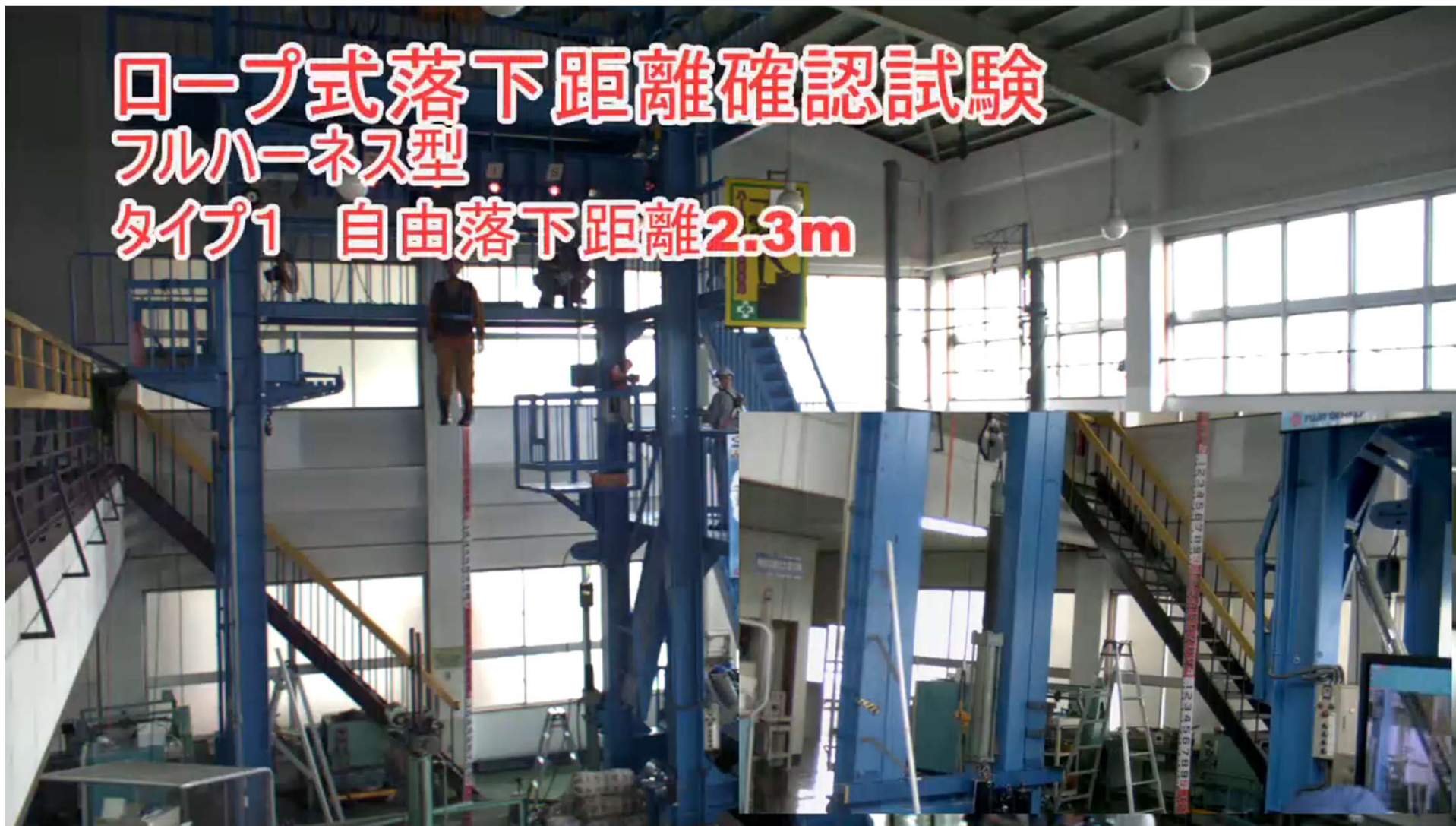


(提供：藤井電工株式会社)

ロープ式落下距離確認試験

フルハーネス型

タイプ1 自由落下距離2.3m



(提供：藤井電工株式会社)

ロープ式落下距離確認試験

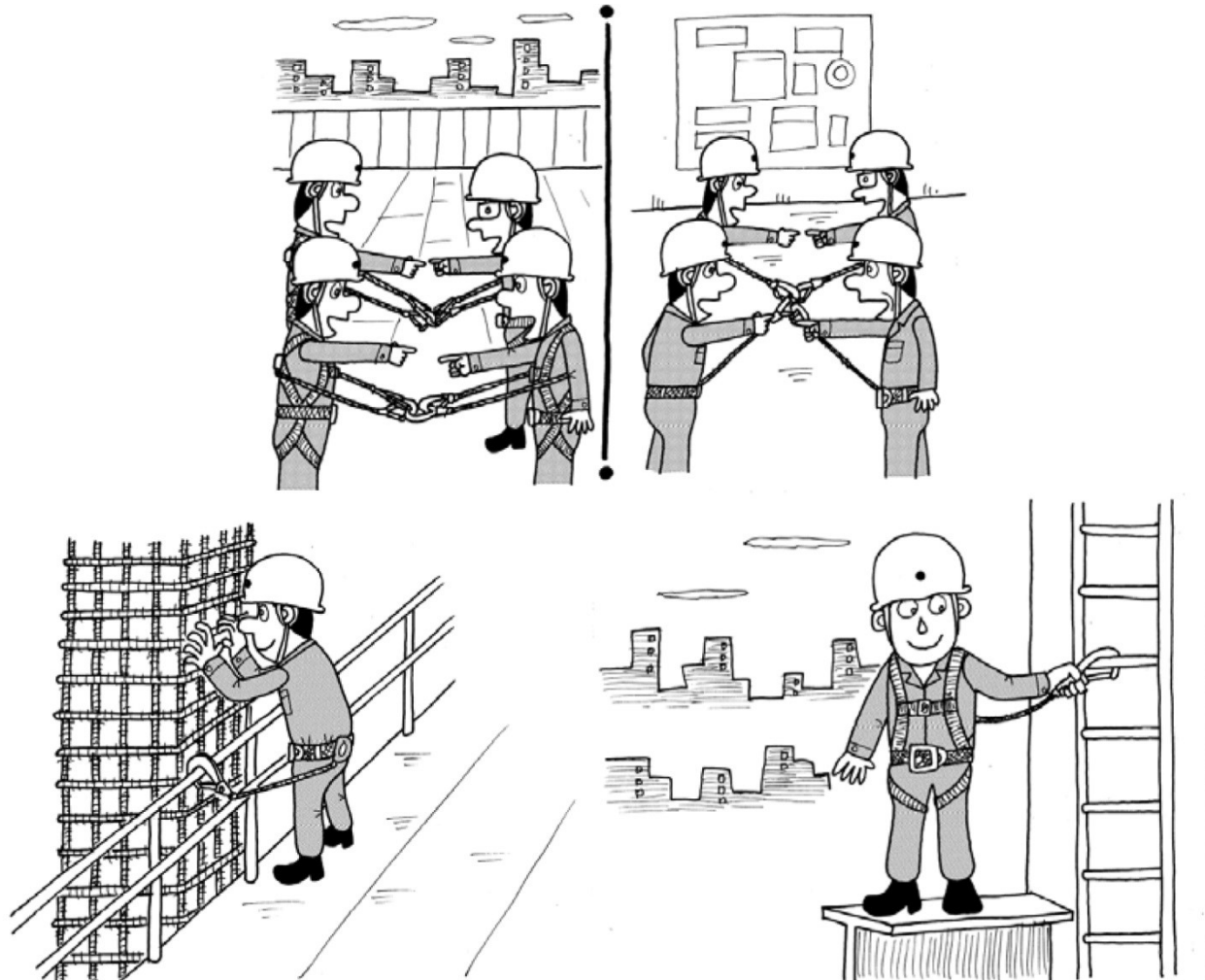
フルハーネス型

タイプ2 自由落下距離3.15m



(提供：藤井電工株式会社)

建設工事における
“墜落制止用器具（通称「安全帯」）”に係る『活用指針』
－ 「胴ベルト型」・「フルハーネス型」安全帯の使用基準（推奨） －



2019年1月
一般社団法人 日本建設業連合会
安全委員会



スリーエスバックホー (セーフティー・ソナー・ストップ)

機種コード

本体 ZV340003001

センサー ZV320000003



発光部



コントローラー



ヘルメットセンサー

0.1m³～0.7m³まで取付可能

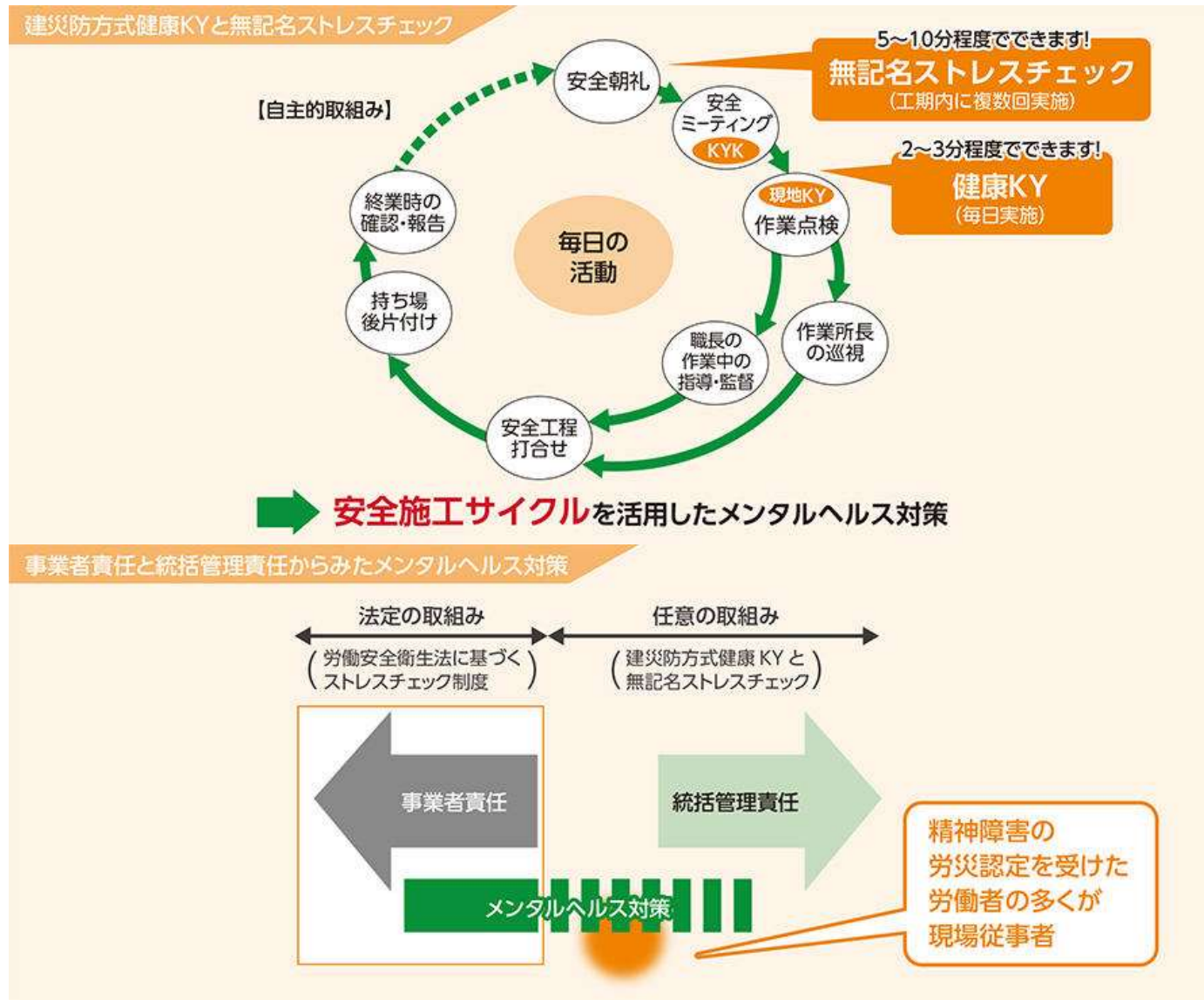


主な構成機器

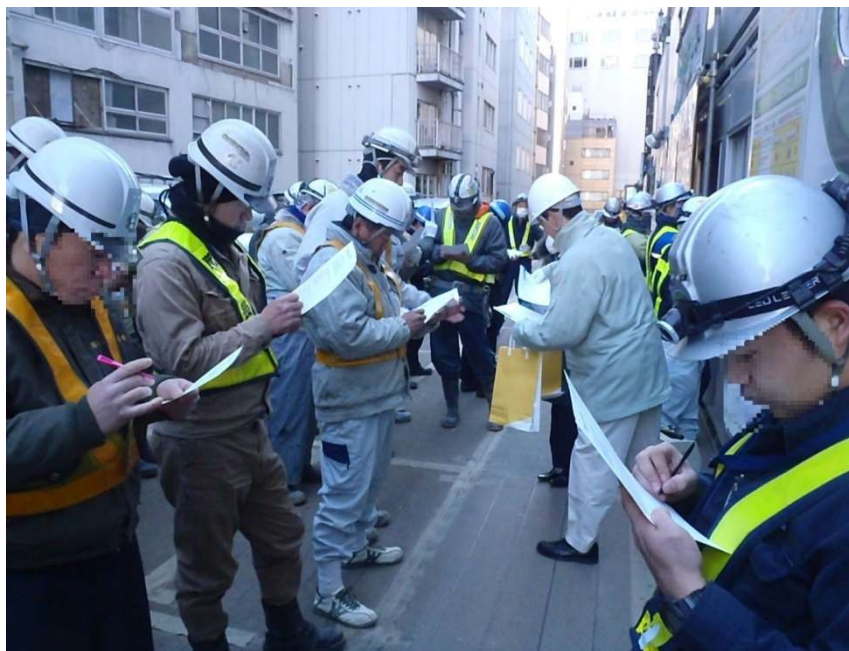


建設現場のメンタルヘルスと職場環境改善

建災防では、建設現場におけるメンタルヘルスと職場環境改善対策として「建災防方式健康KYと無記名ストレスチェックの普及に取り組んでいます。



建設現場における実施状況



無記名ストレスチェック実施状況



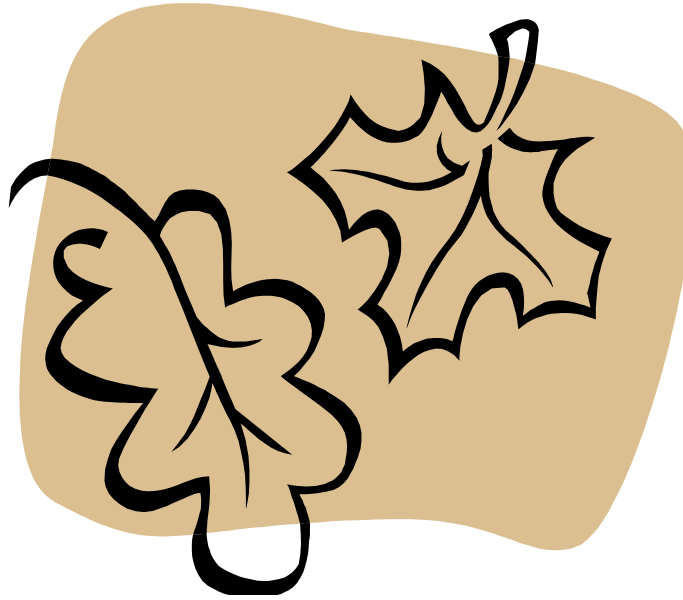
健康KY実施状況

建設現場における実施状況



無記名ストレスチェック実施状況

引用：厚生労働省委託事業・平成29年度建設業、造船業等におけるストレスチェック集団分析等調査研究事業 実施結果報告書



ご清聴ありがとうございました。